学校番号	3006

令和８年度　工業科（建築都市工学系　都市工学専科）

教科	工業	科目	都市工学施工	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	土木施工　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．授業に毎回出席し、取り組む気持ちを持って授業に参加しましょう。
２．大事な事を定着させられるように、授業でメモを取りましょう。
３．提出物は締め切り厳守です。出すべきときに出せるようにしましょう。
「分かり易く、身に着く授業」には、受ける側の参加・協力・雰囲気づくりが必要です。
一緒に授業をつくっていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
土木構造物を計画通り安全につくるため，土木材料，いろいろな施工技術，土木工事管理，工事用機械・電気設備の基礎的な知識を身につけるとともに，土木施工に関する法規など，総合的に土木施工をとらえられる技術を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
土木施工に関する基礎的な知識や技術の習得をもとに、土木工事をするときに生じる諸問題に気づき、適切な判断・解決をする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】・
土木工事現場の見学やインターンシップ、また視聴覚教材を通じて、土木工事における諸問題を主体的、合理的かつ倫理観をもって解決し、実際に活用できる技術者としての素養を身につけさせる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	土木工事のあり方について、環境に対する配慮と関連させながら、適切な工法を選定し、安全で経済的な工事を進める知識を身に付けている。また、多くの土木工事が公共工事であることを自覚し、その工事に従事する技術力を、安全や環境に配慮しながら、社会基盤の整備に生かす技術を身に付けている。	古代から最近の土木技術について知るとともに、土木技術に関する施工法に問題を見出し、実例や土木工事の見学などを通して、社会基盤の整備という観点から土木を総合的に考え、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	土木技術を具現化するための施工方法に関心を持ち、生活に欠かせない総合技術としての役割を理解しようとしている。また、主体的に学習に取り組むとともに，土木技術者としての望ましい心構えや態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	いろいろな施工技術と各種工事用機械	トンネル 上下水道 ダム 橋梁 鉄道 河川 砂防 港湾 海岸 各種工事用機械	a: 代表的な工事の実例を踏まえて、各種工事に関する基本的な知識を身に付ける。また、複合技術として成り立っている工事を理解し、困難な工事にも挑む知識を身に付けている。 b: 地形や使用目的などによって、適切な調査・計画・工法が取られていることを考察し、判断できる。技術内容を理解し、適切な社会基盤施設を安全かつ経済的に構築する工法が判断できる。 c: いろんな土木構造物が持つ意義や必要性に関心を持ち、それらを計画的かつ安全につくる施工技術に対して意欲的に探求しようとする。また工事に関心を持ち、あわせて防災の観点からも施工技術に関心を持ち、意欲的にそれらを探求しようとする。	小テスト	振り返りシート	課題プリント

2学期	工事のしくみと管理	工事のしくみ 施工計画 工事の見積り 工事の管理 安全衛生管理 工程管理 品質管理 原価管理	a: 土木工事の一般的な手順を理解し、発注者と建設業者の実施手順の相違を実例を通して身につけている。また、工事の進め方を理解し、一般競争入札の実例をもとに、入札書や工事請負契約書などを作成できる。 b: 発注から入札・契約・着工・引渡しの一連の流れを総合的に考え、実例を通してしくみを判断できる。PDCA の考えを原則に、４大管理の問題点を見出し、監督の立場に立って、検査等の適正な判断ができる。 c: 工事の進め方に関心を持ち、手順や段階について実例を通して意欲的に探求しようとする。４大管理に関心を持ち、監督者の立場に立って、その重要性を意欲的に探求しようとする。	小テスト	振り返りシート	課題プリント
3学期	土木法規	労働基準法 労働安全衛生法 建設業法 道路関係法 環境保全関連法規 その他の関係法規	a: それぞれの法に定められたものについて、実例や日常生活に関連付けた基本的な事項を理解し、実例に関連付けた知識を身に付けている。また、法の適用方法を体験し、適切に活用できる技術を身に付けている。 b: それぞれの法で定められた事項と実際の社会における活動を比較し、さまざまな問題点を法規上の観点からに考察、適正に判断できる。 c: 土木工事を行う際のいろいろな関係法規に関心を持ち、法で定められた事項が実際の社会の中でどのように活用されているか意欲的に探求しようとする。	小テスト	振り返りシート	課題プリント

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度